

平成 2 2 年度

決 算 報 告 書

自：平成 2 2 年 4 月 1 日

至：平成 2 3 年 3 月 3 1 日

国立大学法人京都教育大学

# 平成22年度 決算報告書

国立大学法人京都教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,961	3,961	-	
施設整備費補助金	226	226	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	-	15	15 (注1)	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	54	45	△ 9 (注2)	
自己収入	1,146	1,152	6	
授業料、入学金及び検定料収入	1,088	1,091	4 (注3)	
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	58	61	2 (注4)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	99	117	18 (注5)	
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	161	161 (注6)	
計	5,487	5,678	191	
支出				
業務費	5,092	5,014	△ 78	
教育研究経費	5,092	5,014	△ 78 (注7)	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	280	271	△ 9 (注8)	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	-	15	15 (注9)	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	99	125	25 (注10)	
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	15	11	△ 4 (注11)	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	5,487	5,436	△ 50	
収入-支出	-	242	242	

## ○予算と決算の差異について

(注1) 年度途中に設備整備費補助金等の交付が決まったため、予算額と比して15百万円多額となっています。

(注2) 一般競争入札等の結果、当初見込みより安価に事業を実施できたため、予算額と比して9百万円少額となっています。

(注3) 在学者の増、入学者の増、受験生の増により、予算額と比して11百万円多額となっています。

(注4) 科学研究費補助金間接経費収入等の増により、予算額と比して2百万円多額となっています。

(注5) 寄附金の受入増、受託事業の決定などにより、予算額と比して18百万円多額となっています。

(注6) 年度中に、前中期目標期間繰越積立金が承認され、その取崩を行ったため、161百万円多額となっています。

(注7) 前中期目標期間繰越積立金の執行による増、退職者の減、物件費の減、給与改定による減などにより、予算額に比して、78百万円少額となっています。

(注8) (注2)と同様の理由で、予算額と比して9百万円少額となっています。

(注9) (注1)と同様の理由で、予算額と比して15百万円多額となっています。

(注10) (注5)と同様の理由、及び、寄附金の前倒し執行により、予算額と比して25百万円多額となっています。

(注11) 長期借入金当初予定よりも少額となったため、予算額に比して4百万円少額となっています。